

# 成人急性期看護方法論

ナンバリング:N2-S1-E03

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	2	区分/単位数	講義/2単位
期間	後期		

## ・学修方針(講義概要等)

成人看護学概論を基に、成人期にある者およびその者の家族等を対象とした急性期から慢性期を通じた看護に関して、特に、急性期に焦点をあてた方法論を学ぶ。具体的には、急性期にある患者の事例を通して、身体的・心理的・社会的側面からのアセスメントの実施方法、生物学・解剖学・生理学・病理学・薬理学・看護学・社会学の知識を統合して、看護過程を展開する方法を学ぶ。その際、最新研究から得られた知見を用いて、科学的根拠を持った看護ケアを提供することを想定した事例を学ぶ。

## ・教育成果(アウトカム)

生命の危機状態および围手術期にある患者と家族の特性について、身体的・心理的・社会的側面から捉えることができる。また、安全で質の高い看護を実践するために必要な知識・アセスメント力を、事例を通して活用できる。さらに、手術や侵襲によってもたらされる合併症や二次的障害の予防と回復促進に向けた援助について根拠に基づき考察できる。加えて、社会復帰を目指す患者と家族の生活を再構築するための看護について、発展的に考察できる。

## 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

## ・到達目標(SBO)

- 成人期にある患者およびその家族等を対象とした急性期看護の特徴を述べることができる。
- 生命の危機状態および围手術期にある患者の潜在的・顕在的な健康問題について説明できる。
- 生命の危機状態および围手術期にある患者について、事例を通して看護過程の展開ならびに具体的な援助方法を、科学的根拠をもとに検討できる。
- 手術や侵襲によってもたらされる合併症や二次的障害について、術式による特徴をふまえ、予防と回復促進に向けた援助方法を根拠に基づき検討できる。
- 社会復帰を目指す患者とその家族の生活を再構築するための看護について説明できる。
- クリティカルケアに携わる医療チームを列挙し、それぞれの役割について説明できる。

## ・授業日程

### 【講義】

会場：西1-B講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
9/14 月 3限	<p>【授業内容】急性期看護およびクリティカルケアの概念</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>急性期看護とクリティカルケアの関係について説明できる</li> <li>急性の状態にある患者と家族の特徴について述べることができる</li> </ul> <p>【関連するSBO】1、6</p> <p>【事前学修：90分】急性期看護とクリティカルケアの特徴について文献やテキスト等で調べる</p> <p>【事後学修：90分】急性の状態にある患者と家族の特徴についてまとめる</p>	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授

9/16 水 1限	<p>【授業内容】患者と家族の心理的反応および理解するための概念</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者とその家族が示す心理的反応を理解するための理論や概念について説明できる</li> <li>【関連するSBO】1, 2, 4</li> <li>【事前学修:180分】(提出①) 心理的反応を理解するための理論や概念について調べる</li> <li>【事後学修:90分】患者の身体的反応(授乳)について要点をまとめる</li> </ul>	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授
9/18 金 2限	<p>【授業内容】周手術期にある患者と家族の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周手術期にある患者とその家族の特徴を述べることができる</li> <li>・手術までの医療者の準備と患者への看護援助について説明できる</li> <li>【関連するSBO】2, 3, 4</li> <li>【事前学修:90分】疾病論Ⅱ(外科系総論)で学修した「外科治療の実際」について復習し要点をまとめる</li> <li>【事後学修:90分】手術までの患者への看護援助について要点をまとめる</li> </ul>	共通基盤看護学講座 三上 邦子 講師
9/24 木 1限	<p>【授業内容】周手術期看護の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・術後の症状アセスメントとその看護について述べることができる</li> <li>・早期離床の促進について説明できる</li> <li>【関連するSBO】2, 3, 4, 5</li> <li>【事前学修:180分】(提出②) 術後の日常生活(食事、排泄、清潔)の援助について調べる</li> <li>【事後学修:90分】術後の症状アセスメントとその看護について要点をまとめる</li> </ul>	共通基盤看護学講座 三上 邦子 講師
10/2 金 3限	<p>【授業内容】クリティカルケアの実際</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クリティカル領域で治療を受ける患者と家族の特徴を述べることができる</li> <li>・クリティカルケアに携わる医療チームの役割について説明できる</li> <li>【関連するSBO】1, 4, 5</li> <li>【事前学修:90分】クリティカルケアに携わる医療チームを列挙し役割をまとめる</li> <li>【事後学修:90分】クリティカルケアを受ける患者と家族の援助についてまとめる</li> </ul>	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授
10/6 火 3限	<p>【授業内容】呼吸機能の回復を目的とした看護(肺がん、胸部外傷等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸機能の回復を目指す患者のアセスメントと看護援助について説明できる</li> <li>【関連するSBO】2, 3, 4, 5</li> <li>【事前学修:90分】疾病論Ⅰ(内科系総論)で学修した「呼吸器疾患」について復習し要点をまとめる</li> <li>【事後学修:90分】呼吸機能の回復を目指す患者の看護援助についてまとめる</li> </ul>	共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師
10/9 金 3限	<p>【授業内容】循環機能の回復を目的とした看護(急性冠症候群)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・循環機能の回復を目指す患者のアセスメントと看護援助について説明できる</li> <li>【関連するSBO】2, 3, 4, 5</li> <li>【事前学修:180分】(提出③) 手術適応となる心疾患と治療、術式の種類について調べる</li> <li>【事後学修:90分】循環機能の回復を目指す患者の看護援助についてまとめる</li> </ul>	共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師
10/9 金 4限	<p>【授業内容】排泄機能の回復を目的とした看護①(大腸がん、直腸がん)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄機能の回復を目指す患者のアセスメントと看護援助について説明できる</li> <li>【関連するSBO】2, 3, 4, 5</li> <li>【事前学修:90分】疾病論Ⅱ(外科系総論)で学修した「小腸・結腸疾患」について復習し要点をまとめる</li> <li>【事後学修:90分】排泄機能の回復を目指す患者の看護援助についてまとめる</li> </ul>	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授
10/14 水 2限	<p>【授業内容】摂取・消化機能の回復を目的とした看護(胃がん、胆のう炎等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・摂取機能、消化機能の回復を目指す患者のアセスメントと看護援助について説明できる</li> <li>【関連するSBO】2, 3, 4, 5</li> <li>【事前学修:90分】疾病論Ⅱ(外科系総論)で学修した「胃、十二指腸疾患」「肝・胆疾患」について復習し要点をまとめる</li> <li>【事後学修:90分】摂取および消化機能の回復を目指す患者の看護援助についてまとめる</li> </ul>	共通基盤看護学講座 三上 邦子 講師
10/22 木 2限	<p>【授業内容】脳神経機能の回復を目的とした看護(脳腫瘍、くも膜下出血等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脳神経機能の回復を目指す患者のアセスメントと看護援助について説明できる</li> <li>【関連するSBO】2, 3, 4, 5</li> <li>【事前学修:180分】(提出④) 脳の構造、手術適応となる脳疾患について調べる</li> <li>【事後学修:90分】脳神経機能の回復を目指す患者の看護援助についてまとめる</li> </ul>	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授
10/28 水 2限	<p>【授業内容】運動機能の回復を目的とした看護(変形性股関節症等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動機能の回復を目指す患者のアセスメントと看護援助について説明できる</li> <li>【関連するSBO】2, 3, 4, 5</li> <li>【事前学修:180分】(提出⑤) 手術適応となる股関節疾患について調べる</li> <li>【事後学修:90分】運動機能の回復を目指す患者の看護援助についてまとめる</li> </ul>	共通基盤看護学講座 三上 邦子 講師

10/30 金 4限	【授業内容】生殖機能の回復を目指した看護(乳腺悪性腫瘍、子宮がん等) ・生殖機能の回復を目指す患者のアセスメントと看護援助について説明できる 【関連するSBO】2、3、4、5 【事前学修:90分】乳房および子宮の機能、手術適応となる疾患について調べる 【事後学修:90分】生殖機能の回復を目指す患者の看護援助についてまとめる	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授
11/5 木 2限	【授業内容】排泄機能の回復を目指した看護②(前立腺がん、前立腺肥大等) ・排泄機能の回復を目指す患者のアセスメントと看護援助について説明できる 【関連するSBO】2、3、4、5 【事前学修:90分】疾病論Ⅰ(内科系総論)で学修した「腎・泌尿器疾患」について復習し要点をまとめる 【事後学修:90分】排泄機能の回復を目指す患者の看護援助についてまとめる	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授
11/16 月 2限	【授業内容】急変時の看護 ・救命救急処置について説明できる ・急変した入院患者への対応について述べる事ができる 【関連するSBO】1、2、4、6 【事前学修:90分】eナーストレーナーの看護手順:「救命救急処置技術」の一次救命処置(BLS)について動画を視聴し、手順をまとめる 【事後学修:90分】急変した入院患者への対応について要点をまとめる	共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師
11/19 木 2限	【授業内容】臓器移植について ・臓器移植における看護師の役割について説明できる ・脳死下臓器提供における家族への対応について述べる事ができる 【関連するSBO】3、4、5、6 【事前学修:90分】疾病論Ⅱ(外科系総論)で学修した「臓器移植」について復習し要点をまとめる 【事後学修:540分】臓器移植における看護師の役割、家族の対応についてまとめる。さらに講義内容についてすべての配布資料と教科書該当ページを読み返し、要点をまとめる	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 教授

・教科書・参考書等

		教:教科書		参:参考書		推:推薦図書	
教	書名	著者名	発行所	発行年			
教	看護学テキストNICE 成人看護学 急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 改訂第4版	林直子,佐藤ゆみ 編	南江堂	2023			
教	看護学テキストNICE 成人看護学 急性期看護Ⅱ クリティカルケア 改訂第4版	佐藤ゆみ,林直子 編	南江堂	2023			

・成績評価方法

【総合的評価】定期試験80%、課題:事例患者の看護過程10%、事前課題(5回)の提出状況および内容10%の合計100%にて評価する。課題:事例患者の看護過程および事前課題(5回)の評価基準については、初回授業で提示する。  
【形成的評価】各回の講義において習得度チェック(国家試験問題等による確認テスト)を行い、学生の習得度を確認する。なお、習得度チェックについては成績に反映しない。各回の講義において、アンケートフォーム(Google Forms)を通して、学生の理解度および学修の成果を確認する。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1、5~8	1、2、5、6		80					80
2、4	3			10				10
3	4			10				10
合計		0	80	20	0	0	0	100

(備考)

・特記事項:その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】  
提出された事前課題は、授業内で解説をし、学生にフィードバックする。課題:事例患者の看護過程については、コメントをつけて学生にフィードバックする。どちらの課題も評価後、講義最終日に返却する。  
・習得度チェックについては、講義内に解答・解説を行う。  
・授業に関する質問はアンケートフォーム(Google Forms)を活用し、全体に伝えるべき内容は次の授業で回答する。  
【その他】  
・各回、事例について学生同士で考える時間を設け、全体および個々の理解を深める。  
・能動的学習のため、スマートフォン等を用い、双方向型授業ツールとして、アクティブラーニングツール「Slido」を利用する。  
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】  
看護師(別表3):専門分野 成人看護学  
【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】  
当該科目に関連する実務経験の有無 有  
大学病院等における看護師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートPC	2	講義用、カードリーダー用(出席確認)
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影